

ゾフィー・シヨル、最期の日々

白バラの 祈り

SOPHIE SCHOLL - DIE LETZTEN TAGE

シューベルトを愛し、
恋人に生きる喜びを語る女学生、ゾフィー
青春のただ中で人生を謳歌していた彼女に
なぜ命をかけた選択が出来たのか？

ヒトラー政権に立ち向かった
二二歳の女性ゾフィーの勇氣に
世界中の観客が
すすり泣いた感動の実話

 **55th** Internationale
Filmfestspiele
Berlin
Wettbewerb

第55回ベルリン国際映画祭 三冠受賞

銀熊賞(最優秀監督賞・最優秀女優賞)、全キリスト教会コンペ部門最優秀賞

第55回ドイツ映画賞 優秀作品賞・最優秀主演女優賞・観客賞受賞 第78回アカデミー賞 外国語映画賞ドイツ代表

BAVARIA FILM INTERNATIONAL PRESENTS A GOLDKIND FILM AND BROTH FILM PRODUCTION "SOPHIE SCHOLL - THE FINAL DAYS" IN CO-PRODUCTION WITH BR, SWR AND ARTE. JULIA JENTSCH, ALEXANDER HELD, FABIAN HINRICHES, JOHANNA GASTDORF, ANDRÉ HENNING, FLORIAN STIFFER, PETRA KELLING, JORG HUBE. Casting: NISSIE NISLAUT, Make-up: MARTINE FLEND, GREGOR ECKSTEIN, Costumes: NATASCHA CURTIUS-NOSS, Production Design: JANA KAREN, Sound: ROLAND WINKE, Sound Design: DANIEL DIETENBERGER, ALEX SAAL, MAGDA HABERNICKEL, Sound Mix: TSCHANGIS CHAIROKH, Editor: HANS FUNCK, Music: JOHNNY KLIMEK, REINHOLD HEIL, Director of Photography: MARTIN LANGER, Production Manager: PATRICK BRANDT, Executive Producer: JO N. SCHÄFER, Co-Producer: BETTINA REITZ, Producer: CHRISTOPH MÖLLER, SVEN BURGEMEISTER, FRED BREINERSDORFER, MARC ROTHMUND, Script: FRED BREINERSDORFER, Director: MARC ROTHMUND. © Manuel Aicher, Dietikon, Switzerland. GOLDKIND FILM BROTH FILM                

数多くの映画賞に輝き、ドイツで観客動員二〇〇万人を突破！
ゾフィーの壮絶な勇氣に、世界がすすり泣いた。

誰もが恐怖に身をすくめていた時代、ヒトラー打倒を叫ぶ若きドイツ人のグループが実在した。ミュンヘン大学の女学生、ゾフィー・シヨルは、「白バラ」と呼ばれたそのグループの紅一点。二二歳の命を澄んだ瞳で見つめ、仲間を守り、人々が忘れていた良心を守り通すために死を選んだゾフィー。歴史のヒロインの姿を鮮烈に蘇らせる感動の実話が今、私たちの胸を熱くする！

と同時に、逮捕後には、恐怖に震える自分を祈りによって勇氣づけ、仲間を守り、敢然とナチス・ドイツに立ち向かう一人の生身の女性の姿である。二二歳の短い命の終りを澄んだ瞳で見つめ、明日への希望を折ったゾフィー・シヨルの壮絶な勇氣が今、私たちの胸を熱くする。

真実のみが持つ感動！そしてゾフィーの物語は、世界に語り継がれていく

一九四三年、ヒステリックに全面戦争の勝利を叫ぶヒトラー独裁政権末期。「打倒ヒトラー」の文字を町中の壁に書き、郵便やビラで国民に「自由」を呼びかけた「白バラ」のメンバーの紅一点、ゾフィー・シヨル。史実は、戦後ドイツの女性の英雄として名を刻まれるゾフィーと兄のハンス、白バラの仲間のクリストフが二月二八日、ミュンヘン大学構内で逮捕され、五日後、人民法廷で「大逆罪」を宣告され、即日処刑されたことを伝えている。しかし、逮捕から五日間の彼らの真実は長い間、謎に包まれていた。ゾフィーは何を思い、ゲシュタポの尋問官と向かい合ったのか？通常四九日かけの裁判はなぜ一日で終わったのか？ナチスは何を恐れていたのか？このゾフィー・シヨルと白バラの秘密が今、初めて明かされる。五〇年間、東ドイツに隠されていたゲシュタポの克明な記録を元に脚本化、驚くべき真実に裏打ちされた感動の物語が誕生した。そこに浮かび上がるのは、ビリー・ホリデイやシューベルトを愛し、恋をし、青春を謳歌する多感で魅力的な女学生。

白バラを根絶やしにしようとするゲシュタポの尋問官モアとゾフィーの手に汗握る心理的戦い。そして観客すら恐怖に凍りつく、狂気の裁判長フライスラーとの対決……。運命の時に向かつて物語はスリリングに加速する。主演のゾフィー役には、現代ドイツ演劇・映画界で若手実力NO.1の女優ユリア・アイェンチ。彼女の氣迫に満ちた演技が、歴史的な人物を現代に魅力的に蘇らせた。複雑な人間性をもったゲシュタポの尋問官モア役には、「ヒトラー」最期の12日間〜での外交官役が印象深いアレクサンダー・ヘルト。監督のマルク・ローテムントは、生存しているゾフィーの姉やモアの息子など多くの人々の証言を集め、真実のみがもつ深い感動を生み出した。「ヒトラー」最期の12日間〜のラストでは、ヒトラーのタイピスト役だった女性が、自分と同じ歳のゾフィーの存在を知って初めて罪に自覚めたと語っている。またハリウッドでも白バラを描いた「THE WHITE ROSE」(出演グリスティーナ・リッチ、ティム・ロビンズ)が映画化されるなど、戦後六〇年の今、暴力や抑圧に立ち向かう市民の勇氣のシンボルとしてゾフィー・シヨルの存在が新たな注目を集めている。

白バラの祈り

監督：マルク・ローテムント
出演：ユリア・アイェンチ(ベルリン、僕の革命、「ヒトラー」最期の12日間〜)、アレクサンダー・ヘルト(「ヒトラー」最期の12日間〜)、ファビアン・ヒルリス、アドレヘン・マク(「ヒトラー」最期の12日間〜)(他)
2005/ドイツ/121分/color/SD/アメリカン・ウエスト
提供：キネマ・シネマ・レトリック・ジャパン 双日 朝日新聞社 配給：キネマ・シネマ
KINEMA 2006
www.shirobarainnor.com



2006年新春 真実のロードショー！

特別鑑賞券 ¥1,500(税込・当日一般¥1,800のところ)

*劇場窓口にてご購入いただいた方の中から先着500名様にオリジナルポストカードをプレゼント！

日比谷・東宝映画街

全席指定制(初回を除く)

シャンテシネ
www.chantercine.com

03
3591
1511